

平成 22 年 2 月 25 日

ZAPPALLAS

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ザ ッ パ ラ ス
(コード番号 3770 東証第一部)

本社所在地 東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号
代表者名 代表取締役 社長執行役員 杉山 全功
問合せ先 執行役員 管理本部長 小林 真人
T E L 03-5475-7133 (代 表)
U R L <http://www.zappallas.com/>

関係会社投資損失引当金（特別損失）計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 6 月 8 日に公表した業績予想について、下記の通り修正いたします。また、当社の持分法適用関連会社に対して、投資損失引当金を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

平成 22 年 4 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 5 月 1 日～平成 22 年 4 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,350	3,110	3,100	1,820	13,708.95
今回発表予想 (B)	11,200	2,880	2,890	1,590	11,919.04
増減額 (B-A)	△150	△230	△210	△230	
増減率 (%)	△1.3	△7.4	△6.8	△12.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 4 月期)	10,308	2,709	2,695	1,580	11,966.45

平成 22 年 4 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 21 年 5 月 1 日～平成 22 年 4 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,710	3,110	3,120	1,850	13,943.92
今回発表予想 (B)	10,500	2,840	2,860	1,570	11,769.12
増減額 (B-A)	△210	△270	△260	△280	
増減率 (%)	△1.9	△8.6	△8.3	△15.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 4 月期)	9,612	2,696	2,710	1,598	12,099.69

投資損失引当金の計上について

当社の持分法適用関連会社である株式会社アレス・アンド・マーキュリーは、モバイル広告事業を展開してまいりましたが、近年の景況悪化にともなう広告単価の下落等により、広告事業における業績が当初計画を大幅に下回る状況が続いており、この度当該事業を縮小することとなりました。

当社としましては、いずれ同社の業績が回復していく可能性も認識しておりますが、財務健全性の観点に立ち、個別財務諸表において投資損失引当金を 202 百万円計上することといたしました。

また、連結財務諸表において同社にかかるのれん相当額 183 百万円を持分法投資損失（特別損失）計上しております。

修正の理由

デジタルコンテンツ事業における「占い」カテゴリーの会員数の獲得が順調に推移した一方、第 2 ステージへの成長を目指し、初の TV CM といった大型純広告の出稿など、新たな挑戦のための投資を追加したこと、「デコメ」カテゴリーにおいては、集客力の向上を目的とした投入サイト数の絞込みやアフィリエイト広告から純広告への出稿シフトなど戦略シフトの過渡期であることから、会員数は順調に増加しているものの当初想定より下振れしたこと、これらに加え、新規事業分野の開拓に向けた人材の拡充や増床等の積極投資を行った影響により、平成 22 年 4 月期の通期業績予想を、前頁に記載の通り修正いたしました。

また、当期純利益につきましては、株式会社アレス・アンド・マーキュリーにおける上記、投資損失引当金の計上の影響しております。

今回の修正の主な要因である、デジタルコンテンツ事業における新規媒体への広告出稿や出稿戦略のシフト、新規事業分野への投資は、第 2 ステージの成長に向けた前向きな取り組みであり、これらを通じて、今後の成長スピードを加速させていくことが可能だと考えております。

(※) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化などにより、上記予想数値と異なる場合があります。